

「転ばぬ先の杖、
ささぐり純夫です」

市民相談で市道の穴や凹みを、すぐさま補修の手を打つ**ささぐり純夫**。そんな姿を見て、「何だ、小さなことを」と、冷ややかな目で見ている一部の人達がいます。

ちょっと待ってください。

ささぐり純夫は本気で市政を考えています。

例えば道路の穴で、お年寄りがつまずいて寝たきりになったとします。実際に前原市で年間30~40人はいるんですって(*)。そうすると医療と介護で年間約500万円もの保険(税金)が必要となるのです…(*全国平均年間12%を市の人口より算出)

逆に20人減らせば年間1億円もの費用が節約できます！すごいことでしょう？ケガがなく生き生きとした生活のためのアナポコ根絶運動が、こんな税制削減を生むんですね～。

一つのことを、色んな角度から検討し、現場に出向き実行する。まさに、「転ばぬ先の、**ささぐり純夫**」なんです。

さらに**ささぐり**は「受領委任払い」という制度を導入して、バリアフリーで快適な生活ができるまちづくりを実現しました(詳しくは裏面を見てください)。

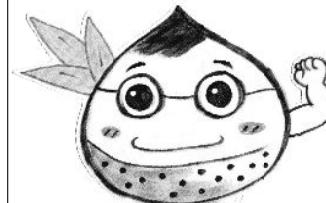
「一人を大切に、一人の声を大切に」をモットーに、**ささぐり**は一生懸命に前原のことを考え、今日も走りつづけています。

そんな**ささぐり純夫**って
なんかいい感じでしょ？



ささぐり純夫 後援会

一人を大切に 一人の声を大切に



SASAGURI

一ささぐり純夫 プロフィール

昭和24年8月 飯塚市生まれ
昭和43年4月 日本電信電話公社入社
昭和63年5月 NTTデータへ転籍
平成14年7月 NTTデータ退社
平成14年11月 前原市議会議員初当選
現在
建設産業常任委員
糸島地区消防厚生施設組合議員
前原市都市計画審議会委員
議会広報編集委員会委員
公明党糸島支部副支部長

[家族構成] 妻・2人の女の子・母の5人家族
[趣味] 音楽鑑賞・読書



4年間での実績 70以上!!



ささぐり 純夫 通信

Vol
14

平成18年9月15日 ささぐり純夫後援会発行

内部検討資料

福祉!

福祉用具購入や住宅改修で「受領委任払い」方式を採用

これまで市から補助はできるものの、かかった費用を工事業者に支払うため、先に全額分用意する必要がありました。そこでささぐりは、費用の1割分を最初に用意するだけで福祉用具購入などができる「受領委任払い」制度を前原市に導入しました。



JR筑前前原駅北口・南口に電光掲示板設置!!

初当選後最初に取り組んだ実績です。平成16年3月設置完了。聴覚障害者の方でも列車の運行や災害情報が一目でわかります。



また市のイベントや観光案内もお知らせできるよう、工夫を凝らしました。

オストメイト対応の多目的トイレを市内12ヶ所に設置

人工肛門や人工膀胱などを患っている人たちは汚物を入れるタンクやシンクが必要です。市役所や、伊都文化会館などオストメイト対応の多目的トイレ12ヶ所を設置しました。



実

教育!

績

環境!

子育て支援センター「すくすく」を開設

平成15年5月に630人の署名と共に設立を要望。平成17年8月伊都文化会館横にオープンしました。市内から参加される方多く、母親同士の憩いの場としても喜ばれています。



市内全小・中学校に専任図書司書を配置

小学生の保護者の方から「学校図書館の書籍数が少ないし、司書がない」との声を聞き、平成15年3月議会において、「市内全小中学校に専任の図書司書の配置を」と訴えました。これには生徒の「活字離れ」を防ぎ、集中力を向上させる効果もあります。松本新市長の公約にも反映され、平成18年4月から1日4時間専任の図書司書が配置されました。



糸島高校南の点滅信号機をフル規格の信号機へ切り替え!!

平成17年6月幼稚園のスクールバスと乗用車が交差点内で発生した衝突事故を教訓に、点滅信号機からフル規格の信号機に切り替えました。



美咲が丘駅・あごらなどの外壁落書き消しを実施

平成15年7月、市職員やJR職員、ボランティアの皆さんの協力により落書きゴシゴシ。見違えるほどすっきり綺麗になりました。西日本新聞にも大きく取り上げられました。



(実施前) (実施後)

‘筆談OK’を示す「耳マーク」を市内66ヶ所に設置

聴覚障害者に対し「筆談」が可能なことを示す「耳マーク」を市役所や市図書館など市内66ヶ所に設置。「広報まえぱる」でも紹介して頂きました。

